

パナマ内政・外交（２０２２年５月定期報告）

【ポイント】

- ９日から２９日まで、コロン県において、同県のプロジェクトの実施及び燃料・食料価格等の高騰への政府の対応を求め、スト及び抗議活動が行われた。
- １０日、コルティソ大統領は、マルティネス貿易産業大臣を駐米パナマ大使に任命した。
- １５日、PRDは党内執行委員会等を選出する党内選挙を実施し、現職のロビンソン総裁が再選した。
- ２日、コルティソ大統領は、ボレルEU外務・安全保障政策上級代表と会談した。
- ３日、パナマにおいて１８の中米・カリブ諸国の外相とボレル上級代表による外相会合が実施された。
- ３日及び９日、駐パナマ・ロシア大使館前において、パナマ及びウクライナ人グループが抗議行動を行った。
- ５日、モイネス外相はパナマを訪問したCris Dodd・ホワイトハウス・米州首脳会議特使及びEmily Mendrala米國務長官次官補代理（西半球担当）と会談した。
- ５日、コルティソ大統領はパナマを訪問したオスマニ・コソボ共和国大統領と会談した。
- ８日、コルティソ大統領はロドリゴ・チャベス・コスタリカ次期大統領の就任式出席のため、コスタリカを訪問した。
- １０日、モイネス外相はパナマを訪問したフーパー英国上院議員兼首相特使と会談した。
- １７日から２０日まで、ゴルドン外務次官は「国際移住レビューフォーラム（IMRF）」出席のため、NYを訪問した。
- ２０日から２１日まで、バイデン米大統領夫人がパナマを訪問し、コルティソ大統領夫人と会談した。
- ２７日、パナマにて開催された第３９回米州婦人委員会（CIM）総会において、カスティージョ社会開発大臣が同委員会会長に選出された。

【本文】

●内政

１ コロン県を中心としたスト及び抗議活動

（１）９日から２９日まで、コロン県において、「コロン統一連合（CUCO: Coalicion de Unidad de Colon）」を中心とした市民は、同県でのインフラ・プロジェクト（病院、交通ターミナル及び文化センター建設、学校・道路等の改修等）の実施及び燃料・食料価格等の高騰に対する政府への対応を求め、スト及び抗議活動を行った。

(2) 今次デモによる道路封鎖等の影響を受け、パナマ市とコロン県を結ぶ湾岸・鉄道サービスが一時麻痺し、学校も休校となった。また、首都圏やその他の地方でも、建設労働者組合及び運送業者等の団体が、燃料及び食糧価格高騰に対する抗議活動を行い、各地で交通渋滞等が発生した。

(3) 12日及び27日、コルティソ大統領はコロン県を訪問し、「コロン統一連合(CUCO)」等と協議を重ねた。27日、同大統領は公共交通機関の燃料価格の固定(1ガロン当たり3.95米ドル)及び商用車及び農業機械への燃料補助金の支給にかかる政令に署名した他、同県の病院建設の工事再開を命じた。

(4) かかる政府の対応を受け、29日、政府及びコロン側代表者により、コロンにおけるプロジェクトの実施を約束する合意文書に署名を行い、ストが解除された。

2 マルティネス貿易産業大臣の駐米パナマ大使への任命

10日、コルティソ大統領はマルティネス貿易産業大臣を駐米パナマ大使に任命した。

(注1: 駐米パナマ大使のポストは、デ・ディアノウス前駐米パナマ大使が2021年11月に逝去して以降、空席となっていた。)

(注2: 6月1日、コルティソ大統領はマルティネス駐米パナマ大使及びアルファロ新貿易産業大臣(元外務次官及び前トクメン国際空港公社理事長)の就任式を同時に行った。)

3 与党PRDの党内選挙の実施

15日、与党PRDは党内執行委員会等を選出する党内選挙を実施し、ロビンソン総裁が再選した他、幹事長職にはデ・レオン中米議会(Parlacen)議員を選出した。なお、デ・レオン議員はバレーラ前政権時に国会議長を務めたPRDの重鎮の一人。

●外交

1 ボレルEU外務・安全保障政策上級代表のパナマ訪問

(1) コルティソ大統領とボレルEU上級代表との会談

ア 2日、コルティソ大統領は、3日にパナマで開催される中米・カリブ諸国・EU外相会合出席のためパナマを訪問したボレルEU外務・安全保障政策上級代表兼欧州委員会副委員長(以下、上級代表)と会談した。

イ ボレル上級代表は、ロシアのウクライナ侵攻に関するパナマの国際場裏におけるEUへの支持に謝意を表明した他、パナマがEUと中米地域の重要な接続点であることやパナマが首脳レベルの重要な対話や外相フォーラムを招集していることを評価した。なお、同代表はモイネス外相と会談した他パナマ運河も視察した。

ウ 同日、ボレル上級代表は「民主主義の発展のための同盟国」であるパナマ、コスタリカ及びドミニカ共和国の外相と会談し、政治対話と国際協力に対する地域のアプローチについて意見交換した。

(2) 中米・カリブ諸国及びEU外相会合の実施

ア 3日、パナマにおいて、18の中米・カリブ諸国の外相とボレル上級代表による外相会合が実施された。

イ 同会合では、ウクライナ侵攻がもたらす影響及び長引くパンデミックといった中南米地域に直接影響を及ぼす世界的なアジェンダの他、原油・デリバティブ商品の価格上昇、食料・生活必需品のサプライチェーンにおけるコスト上昇、環境に影響を与えるエネルギーの流通・消費の変化、開発プロジェクトの資金調達についても意見交換が行われた。

ウ また、同上級代表は、2023年後半にEUと中米・カリブ地域の協力関係の向上を目的とした首脳会合の開催予定につき発表した。

エ 同3日、パナマとEUは、EUの宇宙開発プログラムの一部として、パナマに地域データセンターを設置することに合意した旨発表した。同センターは中南米・カリブ諸国の環境管理、気候変動による影響の緩和、災害リスクの能力向上を目的とするもの。

オ パナマの金融活動作業部会（GAFI/FATF）のグレーリスト掲載に関し、ボレル上級代表は、パナマが同リストから削除されるまで、EUはパナマが含まれているタックスヘイブンのリストを更新しないことを強調した。なお、5月1日、今次会合に先立ち、GAFIとパナマ政府関係者との間で本件に関する会合が行われた。

2 駐パナマ・ロシア大使館前における抗議活動の実施

3日、駐パナマ・ロシア大使館前において、パナマ及びウクライナ人グループが抗議行動を行った。また、9日、パナマ在住のウクライナ人グループが駐パナマ・ロシア大使館前でデモを実施した。なお、ウクライナ侵攻が開始されて以降、パナマ在住のウクライナ人は、プーチン露大統領に抗議する様々なデモを実施している。

3 米州首脳会議特使のパナマ訪問

5日、モイネス外相は、パナマを訪問したCris Dodd・ホワイトハウス・米州首脳会議特使及びEmily Mendrala米國務長官次官補代理（西半球担当）と会談し、パナマが提示する同会議における積極的な役割につき意見交換を行った。

4 オスマニ・コソボ大統領のパナマ訪問

5日、コルティソ大統領は、パナマを訪問したオスマニ・コソボ共和国大統領と

会談し、政治、貿易、気候変動対策、ウクライナ侵攻、地域問題及び二国間の重要課題の他、今次訪問時におけるマザー・テレサ像のパナマへの寄贈等に関し、意見交換を行った。

5 コルティソ大統領のチャベス・コスタリカ次期大統領就任式への出席

(1) 8日、コルティソ大統領はロドリゴ・チャベス・コスタリカ次期大統領(第49代大統領、任期4年)の就任式出席のため、コスタリカを訪問した。同就任式には、モイネス外相及びマルティネス貿易産業大臣も出席した。

(2) 今次訪問の機会を捉え、コルティソ大統領はモイネス外相とともに、ドゥケ・コロンビア大統領と会談した。また、モイネス外相は、ウレホラ・チリ外相と会談し、中南米地域の移民の状況や来る米州首脳会議につき、意見交換を行った。

6 フーパー英国上院議員兼首相特使のパナマ訪問

10日、モイネス外相は、パナマを訪問したグロリア・ドロシー・フーパー(Gloria Dorothy Hooper)英国上院議員兼首相特使(男爵夫人)と会談し、両者の間で、英国・パナマ間の持続可能性パートナーシップに関する覚書に署名した。同パートナーシップは、持続可能な成長と環境保護を目的とし、二国間の協力と温室効果ガス排出削減を強化するものである。

7 ゴルドン外務次官のNY訪問

(1) 17日から20日まで、ゴルドン外務次官は「国際移住レビューフォーラム(IMRF)」出席のため、NYを訪問した。

(2) 18日、ゴルドン次官は、ロドリゲス・キューバ外務次官と会談し、同外務次官のパナマ訪問にかかるロードマップの他、二国間アジェンダの強化につき意見交換を行った。また、同次官はヒラリー・クリントン元米国務長官、リンダ・トーマス米国連大使と立ち話をした他、Andrejs Pildegovicsラトビア国連大使及びアントニオ・ビトリーノ国際移住機関(IOM)事務局長等とも会談した。

(了)